

漁業ネットワーク ぱちぽち

2022
活動
報告

ANNUAL REPORT



とは？

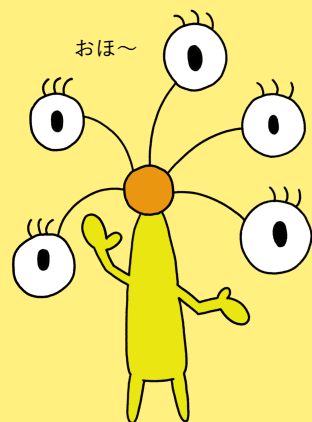
ぱちぱちのミッション

<八王子から発信する、演劇を続けるための環境作り>

18歳~25歳という社会に飛び出したばかりの世代が、「自分らしい演劇の続け方」を考えたり試したりするための「仲間」「知識」「場所」と出会えるプラットフォームです。

劇団とも学校とも違う、演劇を通したゆるやかな繋がり場です。

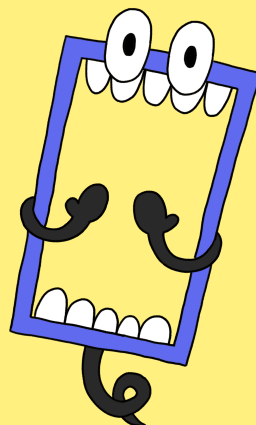
たくさんの取り組みを行い、それがどうなったのかをどんどん発信していきます。



ぱちぱちさん



ふむふむさん



わくわくさん

ワレワレと一緒にぱちぱちの宇宙へ
いきましょう！

主催・企画：公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団

運営：一般社団法人AsoVo

活動資金：国や八王子市の委託費/有料コンテンツの事業収入

活動場所：東京都八王子市を中心にして全国/オンライン



はこうして生まれた

ここは、
東京都八王子市！



東京都の面積の広さはNO.2！（1位は奥多摩）

26市の中で人口数NO.1！（約58万人）

八王子は
有数の学園都市

21の大学、短期大学、高専があり、
約10万人の学生が学んでいる。



公益財団法人
八王子市学園都市文化ふれあい財団
のミッション

- ・学生力を活かして文化の振興を行う
- ・文化芸術を通して人材育成を行う

学生演劇フェスティバル(2016-2017)

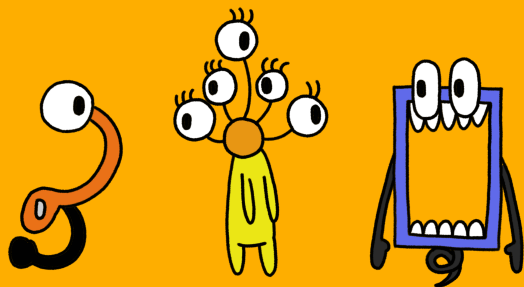
八王子学生演劇祭(2018-2020)

学生の演劇団体による発表

オリジナル作品の上演

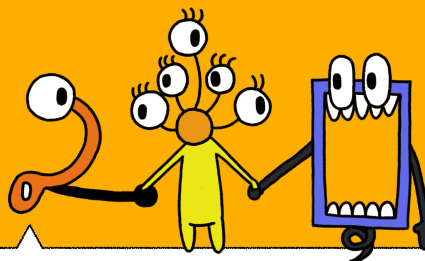
生まれた課題

演劇祭での出会いが
次の作品創作に発展しない…



演劇を続けられない/続けない学生も多い

ゆるやかなネットワークを作ろう
演劇を通じた緩やかなつながりの場

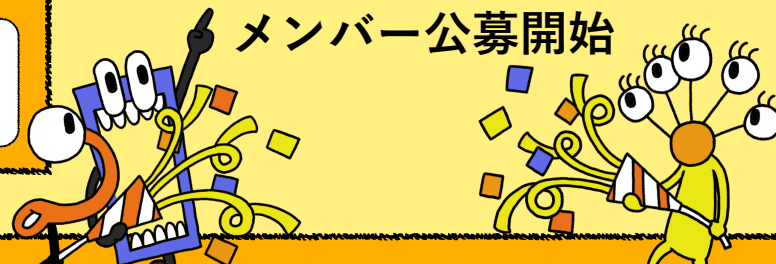


そこで仲間や知識、経験を得て、一人でも多くの
若者が演劇を続けられる環境を育てようよ！

準備期間を経て…



メンバー公募開始





おほ～

いろんな人と繋がってるんですね～



組織図

メンバー

演劇を続けたい思いのある
18歳～25歳のユース世代

メンバー数推移

10人(2021.9 立ち上げ時)

→ 33人(2022.2)

→ 64人(2023.5)

ファン

ぱちぱちに興味があり、
活動に参加したい思いのある方

公式LINE登録者

100人(2023.5)

フレンズ

「演劇の続け方」を試していく協働団体
2023年度は「屋根裏ハイツ」と「かるがも団地」の
2団体を予定

運営

ぱちぱちのミッションを果たすために、
ネットワークを管理するチーム

ぱちぱちで開催した
コンテンツ参加者推移
380人(2022.2延べ)
→ 3188人(2023.5延べ)

みんなを繋ぐよ～!

演劇を続ける環境を作るには？

演劇を続けたい！ぱちぱちメンバーに聞きました



Q.なぜ演劇を続けたいの？

ひとつの作品をたくさんの人と一緒に生み出すのが楽しいから。(ひさ 23歳)

人間が好きだから、演劇が好き。
人と一緒に作るのが楽しい。(のん 大学1年)

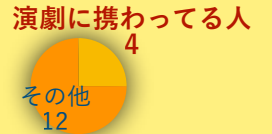
演劇は生きるための役に立つから。(ミズキ 22歳)

不登校や障害などで苦しむ人たちが演劇を通して輝く姿を見てきた。
演劇は人を救うことができる。(ユーチャ 大学1年)

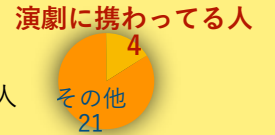


Q.演劇を続けてる人ってどのくらい？

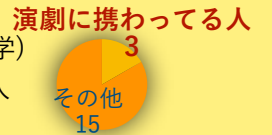
都立日野台高校演劇部39期~41期
計16人中 卒業して2年後も演劇に携わっている人4人



都立片倉高校演劇部(2016年度入学~18年度入学)
計25人中 卒業して3年後も演劇に携わっている人4人



日本大学芸術学部演劇学科演出コース(2018年度入学)
計18人中 卒業して2年後も演劇に携わっている人3人



Q.演劇を続けるためのハードルは？

資金不足！(アキナ 23歳)

仲間の増やし方がわからない(いつき 23歳)

気軽に演劇を楽しめる場が少ない(まゆたそ 23歳)

観劇したことがある、という人が少ない(ゆうか 25歳)

才能がないと続けられないかも…

そもそも続け方がわからない…

などなど様々…

「仲間の増やし方がわからない」の改善にチャレンジ

○ 演劇カンパニー「鳥公園」の企画制作

『ヨブ呼んでるよ』活動に伴走 / 鳥公園「ジコショウカイ展」

劇作家・西尾佳織氏が主宰する「鳥公園」が、八王子いちょうホールで3月に上演した『ヨブ呼んでるよ-Hey God, Job's calling you!-』に、ぱちぱちメンバー4人が伴走しました。創作過程や公演に立ち会うことで、演劇制作者やアーティストと出会い、魅力を発信しました。



奥山樹生(ぱちぱちメンバー)による観劇レポート漫画↑

ぱちぱちメンバーによる『ヨブ呼んでるよ』レポートはこちら→

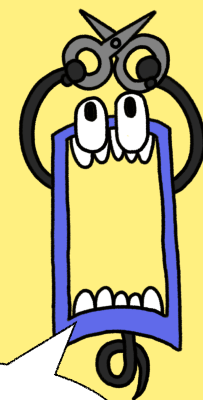
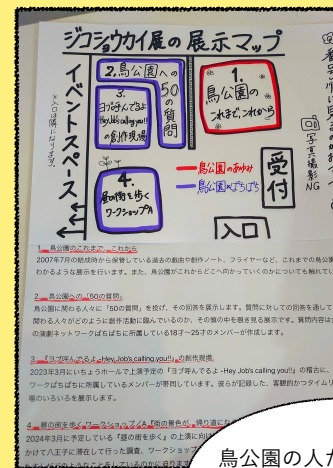


<https://hachiojibunka.or.jp/play/net88/?p=5142>



「鳥公園」を八王子に紹介するための企画「ジコショウカイ展」をぱちぱちメンバー2人が企画制作しました。

2023年2月5日~7日 八王子市学園都市センター・ギャラリーホール



鳥公園の人たちとたくさんおはなしたみたいですょ〜

○ 観劇ツアー

「みんなで見る」「創り手と繋がる」「体験を共有する」観劇体験。観劇した後に上演団体と座談会などを行い、その記録をぱちぱちウェブサイト公開。メンバーの観劇にかかる費用の一部をぱちぱちや上演団体が負担。

2021年は静岡県舞台芸術センター(SPAC)、2022年は豊岡演劇祭(兵庫県)。

「観劇する人を増やす」にチャレンジ

○ 『むかしむかし、あるお家に』



来場者数：135人

演劇ネットワークぱちぱちの立ち上げにあたって、総合ディレクター中込が企画した演劇作品。未来の演劇ファンを育成することを目指し、子どもと一緒に観ることでより楽しめる演出を施す。

初演の八王子公演に続くvol.2では、「たちかわ演劇祭」に参加して立川公演を行った。

演出 中込遊里 作 西尾佳織(鳥公園)とワークショップに参加したみんな
<立川公演>構成 中村大地(屋根裏ハイツ)

出演 演劇ネットワークぱちぱちメンバー

立川市市民会館(たましんRISURUホール)・小ホール

第30回たちかわ演劇祭参加 2022年8月10日・11日(全3回公演)

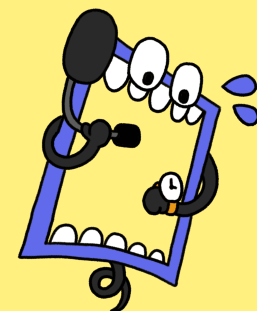
○ きょうげんあそび



日本の伝統芸能である「狂言」を楽しく分かりやすく組み立て直し、幼児~小学校低学年向けに創作した演劇作品。2021年10月、立川市内の保育園からの上演依頼により企画誕生。2022年は3月に都内の幼稚園にて、12月に八王子桑都テラスにて上演。

演出・構成 松尾暁那 制作 齊藤舞夕

出演 演劇ネットワークぱちぱちメンバー



3月の上演では**200人**の幼稚園生、先生と楽しみましたね！

「観劇する人を増やす」にチャレンジ

○ 八王子ユースシアター2022 参加

来場者数：122名

八王子で、ユース世代の力が引き出された演劇を上演する企画。

30歳以下の演出家を公募して、出演者・スタッフも25歳以下中心のチームを作った。

じっくり上げて…



『ラブ・フレンド・ランド』

作・演出：平井寛人(FUKAIPRODUCE羽衣)

出演：朝果・堀慎太郎・安藤優・上山史華

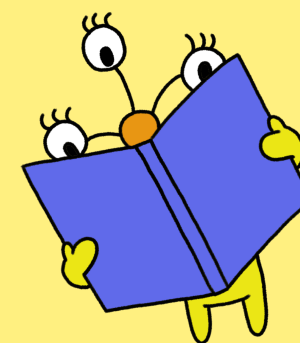


『ある?ない?』

作・演出:京サリ

演出助手 至ノ崎木京

おほ～



2022年12月16日・18日(全2回公演)

八王子芸術文化会館(いちょうホール)・小ホール

八王子ユースシアター2022 つくる、タマリバ。参加作品

専門家からのフィードバックは[こちら](#)→



ディレクターズメッセージ 2022

「仲間」「知識」「場所」「金銭」これらはすべて演劇に必要なものです。その一方で、演劇を「続ける」ためには最も必要なものがあります。「切実さ」です。

私自身の話をします。

観劇体験を通して幼少期に演劇を好きになって、部活で演劇を始め、今日まで休まず演劇を作っています。

中学でも高校でも、演劇がとにかく好き！で突っ走ってきました。大学では演劇学科に入り、仲間もできて、知識も（些少なから…）つきました。

大学を出てから、情熱だけでは演劇を続けられないということを知りました。豊かな知識・経験はもちろんのこと、創作のための予算、生活費を工面すること、チームとの良質なコミュニケーションなど…、あらゆる技術、計画性、そして運も必要です。

足りないものも多くあるけれど、私が演劇を続けられるのは、演劇の力を信じているからだと思います。

演劇は社会の中で生きていくための力を与えます。時に圧力となって支配してくる「社会の正しさ」を揺さぶる力。「人間とはなにか」という答えのない難解な問いを、色々な人と一緒に楽しく思考する場をひらく力。私にとっての演劇は、水や食料と同様、生きるために切実に必要なものだなと思います。

ぱちぱちに集まる若者たちも、それぞれの切実さを抱えています。

立ち上げた当初は10人だったネットワークは、2023年5月時点で70人に届こうとしています。多くのコンテンツが2022年も開催されました。アニュアルレポートでは、その中でも多くの人にひらいた企画を中心に掲載しましたが、すべてのコンテンツ、コミュニケーションが価値あるものだと思っています。ウェブサイト・SNSで詳細に報告しています。

ウェブサイトのデザインを3月に一新しました。「いろいろな考えを持った人が集まり、多種多様な演劇の続け方を試す」という理想を、「異星人が宇宙で出会って演劇を楽しむ」というイメージで表しました。イラストはぱちぱちフレンズ「かるがも団地」の古戸森さんです。ぜひご覧ください。

今年度のぱちぱちの活動の中で特に印象的だったことがありました。

12月にオンラインで開催した「なんととしても来年4月に自作の脚本で初めての演劇公演を打ちたい松井さんを応援しようの会」でのこと。

タイトルのままの企画で、大学1年の松井さんの悩みを年上のメンバー2人が聞き、劇場の予約方法や、人をどう集めるかなどのアドバイスをしました。

いろいろな苦労があった松井さんでしたが、無事に4月に仲間を集めて公演ができたようです。私としてもとても嬉しかったのですが、なにより心が動かされたことがあります。

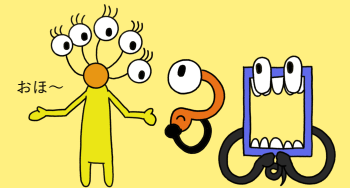
企画の話をしなが、松井さんが「演劇の話ができるというだけでとても嬉しい」と言ってくれたことです。

演劇をしたい、という切実な気持ちが伝わってきた瞬間でした。

人によって演劇のとらえ方は違います。気軽に趣味程度にという人もいるし、海外公演を目標にする人もいます。

演劇にはいろいろな形がありますが、すべての演劇はひとりではできません。だからこそ楽しい。どんな演劇であろうとも、それが切実に存在するのであれば、必ず人を巻き込む力を持ちます。

演劇ネットワークぱちぱちでは、ユース世代が主役になって、仲間を増やしなが、切実にそれぞれの演劇に向き合っています。



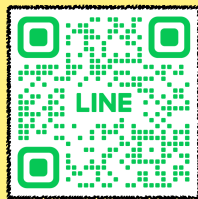
中込遊里（なかごめゆうり）

演出家。「鮭スペアレ」代表。1985年東京都日野市生まれ。都立八王子東高校卒業。2019～2020「八王子学生演劇祭」総合ディレクターを経て、2021年より「演劇ネットワークぱちぱち」ディレクター。



各種アクセスはこちらから

LINE

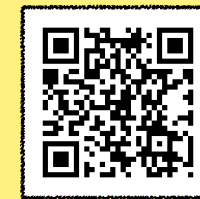
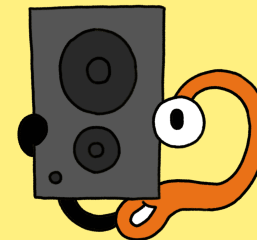


Twitter



HP

カラフルなサイトだよ～



LINEは追加するだけでイベントのお知らせが届きます！

お問い合わせ

Mail: info@asovo.org (運営:一般社団法人AsoVo)

おほ！

